

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学や普段の生活の中で必要な日本語能力を身につけることを目的とする。
授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学び、実際に日本語でのコミュニケーションや作文で使えるようになることを目指す。

到達目標

授業で扱った文法項目の理解だけでなく、運用能力を身につけ、大学での学習や日常生活でのコミュニケーションに対応できるようになる。

提出課題

課題（ワークシート、宿題等）については授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削し、各学生にフィードバックする。また、間違いが多かった問題に関しては、再度解説を行う。

評価の基準

授業中の参加度（30%）、課題（30%）、中間の理解度確認（20%）、期末の理解度確認（20%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・ 出欠は毎回とする。
- ・ 15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・ 遅刻3回で1回欠席とする。
- ・ 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
- ・ 授業には予習・復習を十分に行い、また積極的に参加することを望む。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業中に、または、ポータルを通じて資料を配布する。

授業計画

第1回 オリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）、クイズ「どこがダメ？」
 第2回 敬語表現など
 第3回 名詞修飾、指示詞など
 第4回 決定・決定を表す表現など
 第5回 主張・意見を表す表現など
 第6回 対比を表す表現、適用中止など
 第7回 前半の文法復習など
 第8回 中間の理解度確認
 第9回 傾向を表す表現、立場・観点を表す表現など
 第10回 話題転換を表す表現、判断の根拠を表す表現など
 第11回 感情を表す表現、推量を表す表現など
 第12回 対象を表す表現、調査結果を表す表現など
 第13回 比喩・比喩を表す表現、継続を表す表現など
 第14回 後半の文法復習など
 第15回 期末の理解度確認

毎回、小テストを行う

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】
事前に配布する資料について、分からない語句の読み方や意味を調べること。（1時間程度）

【復習】
学習した項目について、理解に時間を要した部分を中心に復習し、次週の小テストに向けて準備をすること。（2時間程度）
学習内容の定着を図るため、自ら発話練習や作文練習などを行うこと。（1時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

日本語能力を向上させることで、自ら必要な情報を収集し、そこから得た知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考